

## 基調講演

### 基調講演 1

経営進化論  
～ダイナミックフロー  
マネジメントのススメ～

ゴール・システム・コンサルティング株式会社  
代表取締役社長  
**村上 悟**

生物は変化する環境に適合するために長い期間をかけて進化しますが、企業も同じように、取り巻く環境の変化、社会構造やテクノロジーの変化に対応した進化が求められています。

最近新聞や雑誌などで、「VUCA（ブーカ）」というコトバをよく見ます。VUCAとは、「Volatility」（変動性）、「Uncertainty」（不確実性）、「Complexity」（複雑性）、「Ambiguity」（曖昧性）の頭文字で、今日の環境が「あらゆる環境の不確実性が増大し、変化が読めない」状態にある事を指しています。このような環境変化の中で企業経営もどう対処するかがポイントになってきますが、議論は混沌としており、具体策は見えていません。

本講演では、今年度のTOC-ICO国際会議で報告した、「日本人とTOC：ハーモニー（和）から始める、経営革新（POOGI）」の内容を再構成して、今日のビジネス環境である「未知」「不確実」をマネージするために必要な3つのフロー（ビジネスフロー、キャピタライズフロー、ナレッジフロー）の考え方と、変化に即応するためのダイナミックフローという考え方、ダイナミックフローをマネージするための活動の進め方についてお話しします。

### 基調講演 2

エンジニアたちが実践した、  
お客様が儲かるシステム開発事例

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ  
ソリューション開発センター  
ソリューション企画部  
**荒木 光信・森谷 孝志・大脇 真悟**

IT業界では既存ビジネスに今後の伸びを期待することが難しい今、これをできるだけ維持しながら、新規ビジネスの比率を高める必要があります。どのような新規ビジネスが良いのか？我々の強みは何か？という悩みはどこにでもあるのではないのでしょうか？

システム開発を生業とする弊社には、激しい競争の中にお客様へ速く価値を提供できるアジャイル開発を実践できるエンジニアが多数いますが、新規ビジネスへ活かすには、プラスアルファが必要です。

今回弊社アジャイル開発チームが、曖昧な要件のプロジェクトにTOCを活用し、お客様が儲かるシステム開発に結び付けました。

受発注者のWin-Win関係は本当に作れるのか？大きなスコープはどうやって決めるのか？

お客さまに選んでもらえるためにはどうしたらいいのか？

アジャイルにあまり関係ない方にも参考になる上流工程の体験談です。